

科目名	基礎化学（卒業必修）				
授業形態	講義	学年	1		
開講時期	2023 年度 前期	単位数	2		
担当教員	武井 利之				
内容および計画	食品を構成する成分や健康への影響を理解するうえで必要となる化学の基礎について学ぶ。高校で化学を履修していない学生にも理解しやすいように、物質の成り立ちからはじめ、身近な現象や料理を例示し、また基礎実験と関連づけて説明する。				
1	原子と分子について（教科書と配布資料内容を復習しノートに整理すること）				
2	原子量と分子量 1（教科書と配布資料内容を復習しノートに整理すること）				
3	原子量と分子量 2（教科書と配布資料内容を復習しノートに整理すること）				
4	物質の溶解（教科書と配布資料内容を復習しノートに整理すること）				
5	酸と塩基 1（教科書と配布資料内容を復習しノートに整理すること）				
6	酸と塩基 2（教科書と配布資料内容を復習しノートに整理すること）				
7	pH と中和反応 1（教科書と配布資料内容を復習しノートに整理すること）				
8	pH と中和反応 2（教科書と配布資料内容を復習しノートに整理すること）				
9	酸化と還元 1（教科書と配布資料内容を復習しノートに整理すること）				
10	酸化と還元 2（教科書と配布資料内容を復習しノートに整理すること）				
11	物質の三態（教科書と配布資料内容を復習しノートに整理すること）				
12	ミネラル（教科書と配布資料内容を復習しノートに整理すること）				
13	浸透圧、コロイド 1（教科書と配布資料内容を復習しノートに整理すること）				
14	浸透圧、コロイド 2（教科書と配布資料内容を復習しノートに整理すること）				
15	まとめ（教科書と配布資料内容を復習しノートに整理すること）				
教科書					
	タイトル	著者名	出版社	ISBN	発行年
授業ごとに資料を配布する。					
参考書	高等学校等で使用した化学の教科書				
成績評価					
	評価方法				割合(%)
筆記試験					70
授業参加態度					30
学習到達目標	1， 学生が物質の基本粒子及び化学結合について理解し説明できる。 2， 学生が物質の溶解及び溶液やコロイドの性質について理解し説明できる。 3， 学生が酸と塩基及び酸化還元反応について理解し説明できる。 4， 学生が物質の状態変化について説明できる。 5， 学生が典型元素及び食品に含まれる無機成分について理解し説明できる。				

先修条件	
実務経験	
その他	高校までに使用した化学の教科書を復習してから授業に臨んでください。